

# 未来にフなゾウ 私たちの思い



大津市立志賀小学校 創立150周年記念誌



# 150th Anniversary



2025.06.21sat 創立150周年記念式典



## 志賀小学校の三校訓

- ◆ 心をこめてあいさつします
- ◆ 額に汗して黙ってそうじをします
- ◆ 目と心と耳で聴きます



# 志賀小学校校歌

伊藤 杏枝 詩  
天田 葉 曲

一、春はみどりの麦畑  
湖までつゞく麦畑  
びいちくひばりの声がする  
かすむお空のはてもなく  
心あそべというように

二、昔の人の船とめた  
からさき近いみずうみを  
ぼーとならして船が行く  
きらきら光るさざなみが  
水にあそべというように

三、青いお空に白雲が  
ぼっかりうかんで志賀の野は  
こがねの波が光ってる  
みんなも勉強しつかりと  
できているかというように

# 校歌(旧)

一、春はみどりの麦畑  
湖までつゞく麦畑  
びいちくひばりの声がする  
かすむお空のはてもなく  
心あそべというように

二、昔の人の船とめた  
からさき近いみずうみを  
ぼーとならして船が行く  
きらきら光るさざなみが  
水にあそべというように

三、青いお空に白雲が  
ぼっかりうかんで志賀の野は  
こがねの波が光ってる  
みんなも勉強しつかりと  
できているかというように

四、からすがないてうさ山の  
霜おく冬はきびしいが  
うみの向うに陽をあびて  
やさしい姿の三上山  
よい子になれというように

## 志賀小学校の教育構想

恵まれた志賀の自然と歴史を継承し、未来を切り開く、心身共に健全で、人間性豊かな子どもを育てる

- ◆ 多様性を尊重し自立できる子ども
- ◆ 健康でたくましく生きる子ども
- ◆ 志賀っ子力(三校訓など)を身につけた子ども



## 目次 contents

◆ 志賀小学校の三校訓・教育構想	
◆ 新・旧校歌	
◆ 謝辞 校長 岡本 幸一郎氏 .....	1
◆ 祝辞 .....	2
大津市長 佐藤 健司氏 大津市教育委員会教育長 島崎 輝久氏	
◆ 志賀小学校沿革 (1875-2025) .....	4
歴代校長・歴代 PTA 会長	
◆ 志賀小学校山中分校の懐かしい日々 .....	8
礒谷 秀男氏	
◆ 150周年記念 人文字による航空写真 .....	9
◆ 先輩方からの応援メッセージ .....	10
谷 祐治氏 中嶋 紳乃介氏 大槻 夏子氏 榎塚 晏奈氏 遠藤 宏美氏 近藤 高代氏 常喜 寝太郎氏 青木 弘武氏	
◆ 志賀小学校創立150周年に寄せて .....	14
小野 清司氏 伊勢田 小夜子氏 梅井 俊仁氏 川越 久聖氏	
◆ 世代別交流 座談会 .....	18
◆ 創立150周年記念式典 .....	20
• 式典報告 • メイキング・オブ150周年記念式典 • 「しがやふる」かるた大会	
◆ 謝辞 .....	24
実行委員会会長 大伴 克巳氏 志賀小学校保護者会「はなぞの会」会長 木戸地 泰孝氏	
◆ 実行委員会役員名 .....	25

# 謝辞

150th Anniversary

## 創立150周年記念式典



本日、大津市長 佐藤健司様をはじめ、大津市教育委員会教育長 島崎輝久様、そして多くの関係の皆様方のご臨席を賜り、ここに「大津市立志賀小学校創立150周年記念式典」が、このように盛大に挙行できますことは、校長として、大変感慨深く、また、大きな喜びでございます。高い席からではございますが、学校を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。また、本事業の計画段階から今日に至るまで、様々なところでご尽力いただきました実行委員会、実行委員長 大伴克巳様をはじめ、実行委員会各部会の皆様方や地域の皆様方にも、重ねて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、近江の都とうたわれた、歴史豊かな丘に建つ、この志賀小学校の歩みを振り返ってみますと、これまでのたゆまぬ歴史を知るにつけ、素晴らしく輝かしい伝統が生まれ、それが引き継がれてきた様子をうかがい知ることができます。それぞれの時代、時代において、常に良き教育を求め、優れた教育実践を重ねてこられた先輩教職員の皆様方。学校と信頼関係を築き上げ、教育活動の推進にご理解やご協力をいただきました保護者の皆様方。そして、立派に成長され、現在社会の中で大いにご活躍されている卒業生の皆様方。これまで本校を見守り、温かく支えていただきました地域の皆様方。これまでのすべての皆様方のご苦勞とご尽力に対しまして、改めて深く感謝を申し上げます。

一世紀半という大きな節目の年を迎えるにあたり、教職員一同、子どもたちの幸せの

ために魅力のある学校づくりに邁進し、地域の宝である大切な子どもたちの学び舎として、さらなる発展に向けて努力する決意を新たにしているところです。これからも志賀小学校は、児童にとって「学びがいのある学校」、保護者にとって「協力がいのある学校」、地域の皆様にとって「応援しがいのある学校」、教職員にとって「働きがいのある学校」として、永遠と歴史を刻み続けていくことを心より願っております。今後も引き続き、皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

先日、50年前、創立100周年記念式典において、児童代表のあいさつをされた、当時、6年生児童会長さんが、わざわざこの機会に東京からお越しいただき、お友達の方々と当時の楽しかった子ども時代の話をついばいお聞きしたところです。今から50年後は、創立200周年です。この時には、今の1年生は56歳、6年生は62歳になります。その時、皆さんはどこにいらっしゃるのでしょうか。どんな時代を築いているのでしょうか。その時の皆さんの姿を、私はきっと見ることはできないでしょう。だからこそ、ここにいる児童の皆さんに、本日ご列席をいただきました多くの皆様方の想いや願いを重ね、この志賀小学校を、あなたたちに託します。創立200周年の時には、ここにいる子どもたち、一人ひとりが輝き、心豊かで幸せな時代を生き抜いていることを願いつつ、私からのお礼の言葉といたします。本日は、誠にありがとうございました。

令和7年6月21日

大津市立志賀小学校長 岡本 幸一郎

# 祝辞

150th Anniversary

## 志賀小学校創立150周年に寄せて



津市立志賀小学校が創立150周年という記念の年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

さて、志賀小学校におかれましては、明治8年に前身の花園学校が創立されて以来、現在の唐崎小学校や比叡平小学校の分離を経験しながらも、周辺地域コミュニティの核として充実・発展してきたことは、歴代の卒業生をはじめ教職員、さらに地域の方々のご尽力の賜物であり、深く敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

志賀小学校が位置するこの地域は、比叡山と琵琶湖の間に位置し、四季折々の風景を楽しむことができる自然豊かな地域であり、天智天皇をまつる近江神宮も近く、また、志賀小学校の校歌にも登場する宇佐山には織田信長の家臣である森可成が築いた宇佐山城の石垣が残っているなど、歴史遺産も存在しております。

特に、近江神宮は「かるたの聖地」であるとともに、漫画「ちはやふる」の舞台としても全国で知られていますが、6月21日(土)

に開催されました記念式典では、「志賀っ子カルタ」の表彰や大会が行われ、大いに盛り上がったと伺っており、地域の歴史文化が志賀小学校の教育活動にも深く根付いていることを実感いたしました。津市といたしましても、この滋賀学区を始め、市内各地域に存在する豊かな歴史文化を通じて、津の子どもたちに地域への愛着や誇りを醸成し、未来を担う地域人材の育成に努めてまいります。

今後も、志賀小学校で学ぶ児童の皆さんが、地域の皆さまに見守られながら、心豊かにたくましく成長されることを期待いたしますとともに、創立150周年を一つの節目として、学校・地域・家庭の「つながり」を今後より一層深められ、志賀小学校が地域の宝としてますます発展しますことを心から祈念申し上げます。

結びになりますが、創立150周年記念事業実行委員会の方々をはじめ、関係の皆さま方のご尽力に心から感謝申し上げます。お祝いの言葉といたします。

津市長 佐藤 健司

## 志賀小学校創立150周年に寄せて



ささなみの 志賀の幸崎 幸くあれど  
 大宮人の 船待ちかねつ 柿本人麻呂  
 ささなみや 志賀の都は 荒れにしを  
 昔ながらの 山桜かな 平 忠度

往時の繁栄が偲ばれる歴史的な土地に位置する天津市立志賀小学校は、明治8年の花園学校に始まり、明治・大正・昭和期には、幾度かの校名変更や学区改編を経て昭和54年に現在の編成になり、その後も平成・令和と歩み続け、令和7年、めでたく創立150周年を迎えられました。心からお祝い申し上げますとともに、ご尽力賜りましたすべての皆様に衷心から敬意を表する次第です。

また、昭和期には体力づくりや遠泳等で、平成期には言語力や学力アップ等で研究指定を受け、市内の小学校教育を先導するとともに、平成27年からは、「心を込めたあいさつ・黙々と取り組む掃除・目と心と耳でしっかり聴く」の3校訓を土台に、伝統ある教育を継承されてきたことにも深い感動を覚えます。

6月21日(土)は、諸準備に奔走してい

ただいた実行委員会の皆様をはじめ、保護者会、卒業生、地域諸団体、歴代校長先生など縁のある多くの皆様ご出席のもと、記念式典が盛大に開催されました。映像で見る移り変わりに、滋賀学区に住まいして半世紀を超える私は、自分の人生を重ねるように懐かしく見入ってしまいましたが、何より感動したのは、新旧の校歌紹介のコーナーで、自分が生まれるずっと以前の旧校歌を、一生懸命、大きな口を開けて歌う6年生の姿でした。

「ふるさとを愛する人は、ふるさとに愛された経験がある」という言葉があります。地域の方々との出逢いやふれあいを通して、多くを体験した子どもには、知的好奇心とともに自信が芽生えます。こうして生まれた自信は、良好な人間関係を築く最も基盤となる豊かな心と他者を思いやる気持ちを育みます。

華やかな歴史・恵まれた自然に加え、多くの方々に支えられる温もりある環境に誇りと感謝の思いをもち、志賀小学校の皆さんが自分の夢に向かって、さらに大きく飛躍されることを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

天津市教育委員会教育長 島崎 輝久